

ランジェロはさかゞ瀝刑のペテロの不敏な表情を描き、主を三度否認したペテロをグレゴは涙を流す聖者とし、ゴヤはガリヤ湖の漁夫であったペテロの野卑な風情をもとらえている。作家と時代によつてとらえ方は違つにしても、例えは伝統的な日本画の肖像画に比べれば、これららの緊立した特色は肉体的感あふれる人間観とその表現である。民族美術の差は単なる様式差ではなく、民族の宗数、人間観に密着していることを改めて確認しておきたいと思ふ。

(寺田 千肇)

▽印象派・光色の名画展「日」本橋高島屋 10月4日まで